

(社)日本栄養士会の提言

チーム医療の課題

- ・必ずしも患者中心のチーム医療とは云いがたい。
- ・チーム医療を担う専門職の取り組む姿勢・意欲は高いが、それぞれの専門職の専門性を十分に活かし切れていない。
- ・医療専門職の専門性と責任の位置づけがなされていない。
- ・医療専門職の適正人数と資質の担保がない。

管理栄養士の課題

1. チーム医療における管理栄養士の役割の明確化
2. この役割を果たすための管理栄養士の体制の整備

21

1 チーム医療への貢献

- ☆管理栄養士のチーム医療への参画率は年々増加している。
- ☆患者毎に異なる課題の解決に向け、栄養の専門職としてチーム医療に参画し、患者のQOLの向上に貢献する。

- ✓ 褥瘡対策チームへの参画率は87.7%、NSTは51.3%である。
- ✓ 管理栄養士は、傷病者の栄養を専門に学んできた。全人的な栄養管理を行う事が可能となる。



チーム活動	管理栄養士の係わりと意義
病棟回診	・摂食状況等の把握による適切な栄養管理 ・患者の栄養状態・嗜好に応じた食事の提供
HIV等感染症患者の食生活支援	・食事療法による免疫力の維持、向上 ・薬剤との相互作用を含めた栄養食事指導
褥瘡チーム	・栄養状態の改善 ・適切な栄養管理による褥瘡の回復・治療
緩和チーム	・薬物療法と適切な食事管理 ・心身の状態に応じた栄養管理によるQOLの向上
嚥下対策チーム	・個々人の摂食能力に応じた食形態の調整と提供 ・誤嚥性肺炎の防止

22

2 管理栄養士の配置基準の増員

- ☆現在の配置基準は給食運営のための最低必要数だと考えられる。
- ☆給食の運営のほか、個々人に応じた適切な栄養管理を行う栄養管理実施加算の実施や、チーム医療の一員として、充実した活動を行うには**管理栄養士の増員が必須**である。

- ✓ 医療法施行規則では、**管理栄養士 病床数 100以上の病院**にあっては 1
- ✓ 栄養管理実施加算の患者1人に要する時間が約20分とすると、**管理栄養士一人あたり1日約20人が実施限度**である。
- ✓ **管理栄養士ひとり当たりの担当病床は93.7床**であり、100%の実施は困難である。

病床数	1施設あたりの平均管理栄養士数(人)	100床に1管理栄養士がいる施設(%)	50床に1管理栄養士がいる施設(%)
20~49	1.3	98.4	96.0
50~99			31.4
100~199	1.9	58.7	13.4
200~299	2.4	42.0	5.4
300~399	3.1	31.4	3.5
400~499	4.2	32.0	3.0
500以上	6.2	28.1	2.7
平均	2.2	64.0	22.3

1管理栄養士の担当病床数(床)	93.7
患者1人に要する平均時間(分)	19.4

(「栄養部門実態調査」(社)日本栄養士会病院栄養士協議会 2008年)

3 技術料の適正評価

- ☆**栄養管理実施加算**は、栄養管理を担当する常勤の管理栄養士が1名以上配置されていることを要件とし、**多職種協働のもとに栄養管理計画書を作成し**、関係職種が共同して患者の栄養状況等の栄養管理を行うもの。
- ☆**栄養食事指導**は、腎臓食などの特別食が必要な患者に対して、**医師の指示に基づき管理栄養士が行うもの**。

課題 ・入院患者に対する**栄養管理の一層の推進**

・通院および入院患者の**栄養食事指導の充実**

特定薬剤治療管理料	470点
小児科療養指導料	250点
難病外来指導管理料	250点
在宅療養指導料	170点
糖尿病合併症管理料	170点
ニコチン依存症管理料(初回)	230点
薬剤管理指導料(救命救急入院料等算定患者)	430点
摂食機能療法	185点
外来栄養食事指導料	130点
入院栄養食事指導料	130点
集団栄養食事指導料	80点

<個人栄養食事指導料の積算根拠>

- ・人件費(管理栄養士経験16年) 372点
- ・媒体作成費 102点
- ・指導経費 46点

<集団栄養食事指導料>

- ・初回および2回以降の所要時間 62分
- ・事前準備 24分

*「栄養食事指導技術及び入院患者に対する栄養管理技術に関する調査」(社)日本栄養士会病院栄養士協議会、2005年